

## 技術提案で求める課題

### 課題 1 「新・保健環境研究所の整備方針<sup>※1</sup>」に係る提案について

#### 〈必須提案項目〉

#### ○「調査・研究、試験・検査」の整備方針に係る提案

- ・調査・研究及び試験・検査の高度化や多様化に対応するため、最先端機器の設置が可能な研究室、実験室等を整備する。
- ・分野横断的な対応力が求められる課題にチームで対応するため、日頃から所内コミュニケーションを図ることができるワンフロアの執務室等を整備する。
- ・バイオハザード対策及びケミカルハザード対策を講じた研究室、実験室等を整備する。

#### ○「情報収集、分析」の整備方針に係る提案

- ・様々な種類や形式のデータを含む巨大なデータ群（ビッグデータ）を収集するため、高速通信が可能な環境を整備する。
- ・収集した個人情報を適切に管理するため、情報セキュリティ対策を講じる。

#### ○「他の機関との連携」の整備方針に係る提案

- 多様な知を最大限に活用するため、医療関係団体、研究機関、民間企業との技術連携や共同研究に活用可能な共用実験室を整備する。

※1 「新・保健環境研究所建設基本計画」 P15 参照

### 課題 2 「施設に必要な基本性能<sup>※2</sup>」に係る提案について

#### 〈必須提案項目〉

#### ○「セキュリティ対策」に係る提案

- エリアや職務の特性に応じた高度なセキュリティ管理を実現できる入退室管理システムを導入する。

#### ○「BCP（事業継続計画）対策」に係る提案

- 災害などの緊急時に損害を最小限に抑え、重要な業務を継続しつつ、早期復旧を図ることを目的とし、BCP対策を講じる。

#### ○「環境への配慮」に係る提案

- ・周辺環境に配慮した排水対策を講じる。
- ・ZEB（Net Zero Energy Building：快適な室内環境を実現しながら、建物で消費する年間の一次エネルギーの収支をゼロにすることを目指した建物）の実現に向け、大幅な省エネルギー対策を講じた上で、再生エネルギーや蓄電設備の導入を推進する。
- ・水資源の有効適切な利用に資することを目的に、基本設計の中で、雨水及び排水処理水等による水の再利用施設の設置が可能か検討する。
- ・建築物の内装等に県産木材の利用が可能か検討する。

#### ○「移動等の円滑化」に係る提案

- 移動や施設利用の利便性及び安全性向上を促進するため、施設のバリアフリー化を推進する。

※2 「新・保健環境研究所建設基本計画」 P16～P18 参照